

令和5年度 福島小学校 学校関係者評価

番号	評価項目	自己評価				考察(現在の状況における成果◎と課題●) ※番号:評価項目	評価者からのコメント (成果◎、課題●)	判定
		よくできている	できている	あまりできていない	できていない			
		児童 保護者 教師	児童 保護者 教師	児童 保護者 教師	児童 保護者 教師			
学力向上について	1 「読み・書き・計算」力の向上をめざして習熟の時間やぐんぐんタイムの充実、ICTの活用を図る。 (☆「学んだこと」を明言できる)	45% 25% 10%	42% 59% 52%	13% 16% 28%	0% 0% 0%	質問1について ● 「読み・書き・計算」力の向上については、児童の「できる」という評価に対して、保護者、教師は「あまりできていない」という評価が増えている。学校全体で、すべての授業での習熟の時間やぐんぐんタイムの充実をさらに図っていく必要がある。 質問2について ◎ 個別最適な学びとして、タブレットの活用が充実してきたことが肯定的な回答につながっている。学年や児童の実態に応じた課題の出し方が適切だったと考えられる。また、授業中での協働的な学びを教師が意図的に設定し、学び合いが深まったと考えられる。 質問3について ◎ 特別支援教育の視点をベースとした4+4 & 福島小UDの授業改善シートを活用した研究授業を実施することができた。若手職員や中堅職員で班を編制して、事前研究会や事後研究会の時間にさまざまな意見交流をすることで授業力向上に努めることができた。 ● 授業中でのICT活用については、どのような活用方法があるのかを全職員で共有する十分な時間の確保ができていなかったため、次年度は主題研究の中で、情報教育担当職員を核として研修を推進していく。 以上により自己評価を3とした。	◎ 「読み、書き、計算」力の向上とともに、タブレットをうまく活用して個の実態に応じた指導が図られていることがよい。 ◎ 特別支援教育の視点をベースとした授業の在り方を考えていることや若手職員や中堅職員と一緒に授業研究会を行っていることが、授業力向上につながり、全国学力調査やみやぎ学力調査、串間学力調査の結果にも表れていると思う。 ● 文章を読み解く力である読解力を身に付けるためにも、読書や音読、課題の与え方を工夫した日記指導などを取り入れていくのもよいのではないかとと思う。 ● これからの児童の学力向上のために必要不可欠なタブレットやICTの正しい活用の仕方を児童にしっかりと教えていく必要があると思う。 ● 児童・保護者と教師の評価の差が気になる。次年度、全職員で共通理解のもとに、児童の学力向上に対する意識を高めていってほしい。	3
	2 児童個々の実態に応じた指導(個別最適な学び)の工夫、児童が主体的に学び合う学習の具現化(協働的な学び) ☆「個別最適な学び」「学び合い」の姿が見える	31% 17% 0%	46% 76% 74%	22% 7% 22%	1% 0% 4%			
	3 授業に関する課題を明確にし、授業力向上を図る。 ☆主題研究の充実、福小UDの活用、わかる授業	56% 22% 0%	33% 70% 74%	10% 7% 22%	1% 0% 4%			
豊かな心の育成について	4 児童の生活を支える基礎的・基本的な行動様式の確かな定着。 ☆当たり前3カ条、清掃、自律できる生活態度	35% 11% 0%	49% 72% 70%	15% 14% 26%	0% 2% 4%	質問4について ● 昨年度も低評価の当たり前3カ条「あいさつ・きまりを守る・正しい言葉遣い」について、校内ではできていても地域や家庭でできていない様子が見られる。まずは、校内での指導を見直し、なぜ必要なのかを児童の実態に合わせた指導をするようにする。また、SNSやゲームの利用の仕方等については、専門機関の方々を招いての授業も考えていく必要がある。保護者の方々からも「あいさつができていない」という評価をいただいている。 質問5について ◎ 特別支援教育部が中心となり、児童一人ひとりの実態やニーズを把握し、適切な指導や必要な支援を組織的に行ってきた。学級でも教育相談を設けたり、学年間で情報共有をする時間を設定したりするなど組織で対応した。 質問6について ● 前年度より、児童と保護者において肯定的な回答が見られるものの、教師の評価が下がっている。個に応じた指導に組織として充分に対応できておらず、学級や学年に負担があった現状も考えられる。児童が安心して安全に登校できるだけでなく、教師も安心して勤務できる環境をつくっていく必要がある。 以上により自己評価を2とした。	◎ 当たり前3カ条「あいさつ・きまりを守る・正しい言葉遣い」は大切なことなので、これからも継続して指導してほしい。声の大小は別として、ほとんどの児童は地域の中でもあいさつできている。今後は、自然に誰にでもあいさつできる児童になってほしい。正しい言葉遣いについて、学校で指導の見直しを図られているところがよいと思う。 ◎ 専門機関の方々を招く考えはよいと思う。さらに、そのように場をもつ、広げる時に、地域の方を頼ったり、共有したりするようにすると児童理解にも深まりがでてくるのではないだろうか。 ● 児童も教師も安心して勤務できる環境づくりに、地域の主任児童員から各地区の民生委員児童委員につないでいけるよう、地域の方々への協力を図る体制づくりができるとよいのではないだろうか。	3
	5 全ての児童が「学校へ行きたい」と思う、魅力的な学校づくり ☆各種アンケート、相談、個別の支援計画、アクションプラン等	75% 16% 4%	21% 74% 70%	3% 10% 22%	1% 0% 4%			
	6 個の特性に応じた自己指導能力や環境に適應する力を高める。 (☆スクールワイドPBSや生徒指導の3機能を生かした指導や授業)	71% 18% 9%	26% 72% 70%	3% 9% 17%	0% 1% 4%			
体力向上と健康安全について	7 自他の命を大切にす実践力を育てるため、家庭、地域、関係機関との連携を図った指導の充実 (☆感染症対応、SOSの出し方、安全な登下校や避難、家庭や地域、関係機関との連携)	44% 19% 4%	40% 73% 78%	13% 8% 13%	3% 0% 4%	質問7について ◎ 感染症対応については、学校職員全体で感染対策・対応に組織的に取り組むことができた。児童も自分で気を付けることができることを考え行動できるようになってきている。 ◎ コロナが5類に移行し、学校全体で避難訓練を実施できるようになった。今後は、訓練の実施の仕方をさらに工夫し、児童自らが命を守る行動がとれるような指導をしていく必要がある。 ◎ 今年度は、5月に民生委員さんとの対面式を行うことができた。安全な登下校を見守ってくださる方が地域にいることを知り、安全に対する意識を高めることができた。次年度は、スクールガード隊の方々の対面式と一緒に下校する取り組みも考えていきたい。 質問8について ● コロナが5類に移行し、活動の制限が緩和されたことで、運動の機会が増え、体力の向上が図られてきた。しかし、スクールのスポーツプランの結果から項目によって体力の低下が認められたため、今後も運動量を確保できるような体育の授業づくりを行っていく必要がある。 以上により自己評価を3とした。	◎ 感染症対応について、学校全体で感染対策・対応が組織的に取り組むことができてよかったと思う。運動会のときに、テントの中にいる児童の熱中症対策として、ミストを高学年の児童がしている姿も見られた。 ◎ 今後も、登下校時に民生委員さんやスクールガード隊の方々の協力を得て、見守りや会話を通して児童の安全意識を高めていきたい。 ● コロナ禍で体力が低下していることが、児童の様子を見ていて分かる。スクールのスポーツプランの結果を地域やスポーツ少年団、市内のスポーツクラブにも情報を広げ、体力向上に活かしていく。串間中学校の体育の教員に協力してもらおうのもいいのではないだろうか。	4
	8 体育、家庭科、特別活動などの教科指導や家庭や地域と連携した日常生活における体育・健康活動による、健康的な生活習慣の形成 (☆スクールのスポーツプラン、運動の日常化につながる体育指導、保健調査の結果分析と課題明確化、家庭との連携)	49% 15% 0%	35% 77% 91%	14% 8% 5%	2% 0% 5%			
市の教育の動向への対応	9 市の教育施策や地域実情に応じた、本校ならではの教育活動の推進(☆くしま学、小中高一貫教育事業、串間中、福島高校との交流活動)	33% 4%	60% 83%	7% 9%	1% 4%	質問9について ◎ 夏休み中に串間中学校において市内の6年生の合同学習会を実施することができた。一緒に学習する場を設定することで中学校入学に対する不安が少しでも減るのではないかと考えられる。 ◎ 今年度は、小中高一貫教育の各研究部会から市で統一した取組が提案され、各校で実施し、評価まで行うことができた。その取組の様子や研究の成果や課題は、11月の研究発表会で確認できた。発表会後も取組を継続している。 ● 小中高一貫教育での取組の様子や結果を各家庭にお知らせし、小中高一貫教育についての理解を深められるようにする。 以上により自己評価を3とした。	◎ 6年生の合同学習会はよい機会になっていると思う。中学校生活への不安を解消するために、学習の交流だけでなく、体を動かしたり読書をしたりすることもよいのではないかとと思う。 ● 小中高一貫教育での取組の様子や成果が分からないので、家庭や地域に広げていってほしいと思う。	3